

令和元年度ぐんま地域防災アドバイザーフォローアップ研修報告書

(1) 県内自主防災組織の事例発表

i 先輩アドバイザー 山崎 和美氏

- ・ 民生委員を務めており、受講後、民生委員の協力者や防災士仲間と共に高齢者向けの防災講座を地域の会議所や特別養護老人ホームにて企画・実施されています。

今回は高齢者の方々への避難の呼びかけをテーマとした啓発講座を発表していただきました。実際に避難行動を取ることが必要な場面を、寸劇形式で演じることで、逃げることの大切さを伝えるヒントがたくさんありました。



ii 日本防災士会群馬県支部 平林氏

- ・ 自ら自治会及び自主防災会にて自主防災組織を結成。準備委員会の立ち上げから防災講座及び自主防災総合訓練の実施まで手がけられました。

群馬県における自主防災組織の結成率は88.2%（平成30年4月1日現在）。県内の組織率100%を目指すために、未結成の地域にお住まいのアドバイザーには自主防災組織結成までの道のりについてのお話は非常に参考になりました。



(2) 災害想像力ゲーム (DIG) 日本防災士会群馬県支部

災害図上訓練は、地図を用いて地域で大きな災害が発生する事態を想定し、地図の上にかける透明シートにペンを用いて、危険が予測される地帯又は事態をシートの上の書き込んでいく訓練のことです。

Disaster (災害)、Imagination (想像力) Game (ゲーム) を略してDIGと呼ばれています。

住民参加型の技法として、事前に危険を予測できることと同時に、避難経路、避難場所、即応性ある避難準備の徹底、地域住民や関係機関において如何なる対策や連携が必要かの検討など、参加者の間で共有することが可能となるとされます。

地域防災力の向上に向けた自助・公助・共助の確立に向けた取り組みとして広がりを見せつつある訓練技法です。

今回は防災士会群馬県支部の協力のもと、8～10人程度のグループに分かれ、体験いただきました。

(3) 自主防災組織における防災士の役割 一般社団法人教育推進協会理事 秦 好子氏

横浜市消防局元管理監であり、自らの災害活動を通じたリアルな現場の状況を語りながら、「官・民・産業の横つながりの連携」の重要性について講義をいただきました。

民間企業、自治会、その他地域に関係する様々な団体がSNSを通じて地域防災力向上のためのネットワークを形成し、防災イベントや訓練、日頃の備えに取り組んだ事例、防災食の食べ比べイベントなど、魅力ある普及啓発活動について紹介いただきました。